流通BMSとのデータ連携

SIPS流通BMSマッピングと中小企業共通EDIの整合性検討結果への対応

* 税関係の情報項目名が不統一であり、誤解を生ずるおそれがある。

SIPS業界横断EDIでは次表の呼び名を採用する。



* 「数量」について次の間違えを修正する（SIPS業界横断EDI）。
* Consignment Item. Quantity

SIPS業界横断EDI：「数量合計」＝＞「貨物内商品数量」

　　流通BMS：「157貨物内商品数量」＝＞「157数量合計」

* SIPS業界横断EDI:発注数量

　　Trade Agreement. Order\_ Quantity＝＞Delivery. Requested. Quantity

* 中小企業共通EDIには「発注数量（バラ）」と「発注数量（発注単位）」の区分がないので検討を要する（🡺中小企業共通EDI）
* 出荷単位の荷姿における「入数（入り数）」のマッピングBIEが異なる。
* SIPS業界横断EDI＝＞Product. Content\_ Unit. Quantity
* 中小企業共通EDI＝＞Trade Delivery. Per Package\_ Unit. Quantity（要検討）
* 流通BMSには注文変更に対応した注文履歴の概念はない。また、SIPS業界横断EDIと中小企業共通EDIでは発注履歴番号をマッピングするBIEが異なり調整する必要がある。
* SIPS業界横断EDI＝＞Document. Version\_ Identification. Identifier
* 中小企業共通EDI＝＞Document. Revision\_ Identification. Identifier（要検討）
* 中小企業共通EDIでは流通BMSで指定できる商品の各種特性値（原産エリア、等級、階級、バイオ区分、品種コード、養殖区分、解凍区分、等）を指定する情報項目が定義されていない。対応の仕方につき中小企業共通EDIにて検討が必要。
* SIPS業界横断EDIの次のBIEのUIDに間違いがあり修正する。
* CIDDL\_ Supply Chain\_ Trade Agreement. Net Price\_ Product. CI\_ Trade\_ Price ＝＞UN01012680

【課題】

* 流通BMS定義の情報項目の全てをSIPS業界横断EDIにマッピングするためには、国連CEFACT共通辞書に55項目のBIE追加申請が必要である。マッピング実装の必要性が具体化してから国連CEFACTへBIE追加申請を提案したい。
* SIPS業界横断EDI、流通BMS及び中小企業共通EDI間での情報項目不一致ケースに、実装時にどのような対応がありうるかにつき検討する必要がある。
* SIPS業界横断EDIにあり、流通BMSに無い情報項目の扱いをどうするか？
* 流通BMS定義の情報項目及びSIPS業界横断EDIにあって、中小企業共通EDIにデータ連携できない情報項目をどうするか？
* 中小企業共通EDIにあってSIPS業界横断EDIに無い情報項目をどうするか？
* 中小企業共通EDIにあって流通BMSに無い情報項目をどうするか？

【データ連携についての追加考察】（SIPS事務局）

1. 流通BMS定義の情報項目を全てSIPS参照メッセージにデータ連携するには、CCLに55項目のBIE追加申請が必要。

